

OIDEとは

飯田OIDE長姫高校は、飯田工業高校と飯田長姫高校が統合し、平成25年に開校した高校です。開校5年目を迎え、様々な取り組みを行っており、より充実した高校になるよう努力を続けています。校名の「OIDE」と「長姫」は2つの旧高校の伝統を名実ともに受け継いだもので、

「OIDE」には

O・・・Originality (独創)

I・・・Imagination (想像)

D・・・Device (工夫)

E・・・Effort (努力)

という本校で学ぶ者に身につけてほしい能力や態度を示しています。



授業公開の様子と体験入学等の計画

4月29日の午前中に授業公開が行われ、およそ100名の中学生とその保護者の皆さんに参加していただきました。実習の授業には専門的な言葉やむずかしい内容もあったと思いますが、専門科の授業の雰囲気は感じていただけたと思います。



今回は授業公開でしたが、もっと本校のことを知ってもらうため、下記のとおり学校見学等を計画しています。進路選択の参考のためにぜひ参加してみてください。大勢の皆さんの参加をお待ちしています。

7月27日(木) 体験入学

複数学科の授業見学を行います。

9月下旬 学科別オープンキャンパス

～11月まで 模擬授業を行います。

12月中旬 保護者説明会

全体説明と個別説明を予定しています。

日程については後日、中学校を通してお知らせします。(本校HPやこの通信にも掲載します)

地域と協働する高校

飯田OIDE長姫高校は、地域と密接に連携したさまざまな取り組みをしています。これまでも商業科の「地域人教育」や工業科の企業連携などで地域に密着した学習を行ってきました。今年度から生徒と地域企業が密接に連携する事で地域が求める人材を育成できるように工業科と地域を結ぶ「人材育成委員会」、商業科と地域と結ぶ「地域人教育推進委員会」が立ち上げられました。学校内だけの授業では学ぶ事のできない、企業の考え方や姿勢、地域の産業、文化、歴史を学ぶなどの幅広い学習が行われます。

人材育成委員会キックオフイベント

5月1日(月)に鼎文化センターで人材育成委員会キックオフイベントが開催されました。工業系3学科の生徒の他、企業等からも多くの出席いただき、講演会とパネルディスカッションを行いました。パネルディスカッションでは企業の代表の方、飯田市の教育長さん、それに本校生徒代表4名がパネラーとして参加し、地域について意見を述べ合いました。「飯田下伊那地域には若者を魅了するものはあるのか」「地域の魅力は何か」などのテーマで活発な議論が行われました。「世界に認められている地元の企業に就職したい」「この地域で起業したい」という高校生の意見もありました。



パネルディスカッション



会場の高校生からも質問が出され時間が足りないくらいでした

「地域人教育」飯田市長さんの特別講義

商業科では5月2日(火)に「地域人教育」の一環として牧野飯田市長さんの特別講義を3年生が受けました。市長さんからは国内でも注目されている地域づくりについてお話があり、「地域づくりに欠かせない人材として高校生が地域を学び、将来地元に戻って力を発揮してくれる事を期待している」というエールをいただきました。



飯田市長さんの特別講義

課題研究における企業連携

3年生には課題研究という授業があります。それぞれの生徒がテーマを決めて1年をかけて取り組みます。そうしたテーマの中には専門的な知識や技術が必要なものもあります。そこで地域の企業と連携することで、テーマをより深く追求することができるようになります。



企業の方と課題研究の進め方を打ち合わせしています